

# REPORT 都議会民主党レポート

2012  
秋号

# 松下玲子

都議会議員  
まつしたれいこ



【松下玲子プロフィール】 1970年生まれ。実践女子大学卒業。民間企業で8年間の勤務後、早稲田大学大学院修了。(財)松下政経塾での研修を経て、2005年都議初当選。現在2期目。都議会環境・建設委員会委員。家族は夫(会社員)と子ども。

## 東京都議会第3回定例会報告

# 犯罪被害者支援条例案を提出 自公・維新の反対により否決される

平成24年第3回都議会定例会が、10月4日に閉会しました。都議会民主党は、犯罪被害者などの権利を守り、利益の保護が図られる社会を実現させるため、犯罪被害者支援条例案を提出しましたが、自公・維新に反対され、否決されてしまいました。

私たちは、都民の生命と財産を守るために必要な施策を、今後も提案してまいります。皆様には本レポートで質疑内容をご確認頂き、ご意見を賜りたくお願い申し上げます。

PICK UP  
01

## 犯罪被害者支援の推進都条例制定を

平成16年、犯罪被害者の権利利益を保護する犯罪被害者等基本法が制定されました。しかし、犯罪被害者等の権利利益を保護する社会を実現するためには、国だけでなく、自治体の取り組みも極めて重要であり、特に都においては、犯罪発生水準や交通事故発生件数が高く、都民の誰もが犯罪被害者になる可能性が高い状況にあります。

そこで、都議会民主党は、犯罪被害者や専門家等の皆さんから意見を聴取するなどして、犯罪被害者等基本条例案を作成し、議員提案として都議会に提案しました。また、併せて、都に対して条

例案への理解と、犯罪被害者等の権利を守る安心・安全の東京の実現に向け、共に取り組むよう求めました。

しかし、石原知事は、犯罪被害者に対する経済的支援を行うことは、国の責務だとして、条例制定に消極的な姿勢を見せ、結果、自民、公明、維新の会の反対によって条例案は否決されました。

事件・事故にあわれた方へ



PICK UP  
02

## 大規模地震対策によっていかに減災を実現するか

4月、都は首都直下地震等の新たな被害想定を公表しました。死者が約1万人、避難者は339万人に上り、被災から3日間は都民、地域が自助・共助で生き延びる対策を講じる必要があります。都議会民主党は、震災から1年半経つ中で、防災意識を風化させずに、都民、企業、組織、地域、そして東京全体が大規模地震対策に取り組むことを都が支援し、都

の減災戦略の実現を促すことが重要と訴えました。

都は、地域防災計画修正素案で今後10年で達成すべき目標を示し、今後は公助の取り組みはもとより、防災隣組の認定団体の取り組みや帰宅困難者対策に係る実施計画の策定など、都民や事業者の自助・共助の取り組みを推進する手立てを着実に講じると述べました。

## Topics 01 自転車条例の制定に向け都民の合意形成を図れ

都自転車対策懇談会の提言を受け、都議会民主党は都に対して、自転車条例の制定に向けた検討を求めるとともに、ナンバープレート制度についての課題等指摘しました。これに対して、都は「まず、自転車の安全で適正な利用を促進するための条例を早期に提案できるよう取り組んでいく」と答弁。ナンバープレート制度については「防犯登録との関係整理や効果的・効率的な制度設計など、さまざまな課題がある」とした上で「提言を踏まえ、制度導入の是非や制度のあり方について、関係者の意見を踏まえ検討していく」と答弁しています。

都議会民主党は、施策のメリット・デメリットを明示しながら、都民の合意形成を図っていくことが重要であると考えています。

## Topics 02 民主党政権が尖閣国有化・実効支配の強化を求める

石原知事が、都による購入を表明していた尖閣諸島は、民主党政権が9月11日に地権者と売買契約を交わし、国有化されました。歴代自民政権がなしえなかった国有化が、石原知事購入表明後、半年で実現。「本来国がやるべき」としていた石原知事の主張が実現したのです。

しかし都議会民主党は、売買契約当日、早速野田総理に対して、国有化だけでなく取り締まりの強化や避難港の整備、自衛隊の有効活用などを求める申し入れを行いました。



## Topics 03 悪質ないじめ問題早期発見・対応のためには

悪質で痛ましい、いじめ事件が連日報道されています。いじめの深刻化、長期化を防ぐためには、問題に対する学校側の見て見ぬふり（事なかれ主義）や隠蔽がないよう、早期発見・早期対応する体制の強化を図っていかねばなりません。そのような点を踏まえて、都にいじめ対策を質しました。

都教育委員会は、7月都内の全公立学校に独自の緊急調査を行い、いじめと疑われるケースも含めた実態把握に努めていることや、いじめ問題の有無で教員が評価されるのではなく、いかに積極的に対応に当たったかで評価される教員評価の仕組みの趣旨を徹底し、早期発見・対応につなげる旨を答えました。また、家庭と地域との連携強化や、徳育の徹底も行っていく旨を述べました。



## 松下玲子の 視点 — Viewpoint —

今定例会では、各会派から自転車に関する質問が相次ぎました。私が初めて都議会議員となり、直後の予算特別委員会で自転車対策について質問を行った際には、他会派から自転車は市議会で質問しろという野次も飛び交いました。あれから7年がたち、各会派が積極的に自転車対策について質問を行う今日の現状に、感慨深い思いでいっぱいです。

今回質問が相次いだ背景には、9月に東京都自転車対策懇談会が「自転車問題の解決に向けて」という提言を東京都へ提出し、自転車条例の制定に向けた気運が高まってきていることもあると思います。今定例会の質疑を通して、東京都の答弁からは、来年早々にも自転車条例を提出することが伺えました。また、提言書に盛り込まれているナンバープレート制度やデポジット制度は、防犯登録制度がある現状、全く新たな制度を構築することが合理的なのかどうか課題も多く見受けられました。自転車利用者や販売者、関係者の意見を今後しっかりと伺い、更に諸外国の取り組み

や現状も調査した上で、制度導入の是非について考えていきたいと思います。

自転車は軽車両であり、地球環境への負荷が低く、渋滞の軽減や健康の増進など、主要な交通手段のひとつとして、東日本大震災以降特に注目されています。その反面、自転車のルールやマナー違反による歩道での歩行者との事故の増加や、放置自転車対策に多大な税金が投じられている現状は、看過することの出来ない問題となっています。こうした現状を踏まえながらも、自転車を有効活用し身近な都市交通手段として位置づけた上で、必要なインフラ（自転車道など）の整備、法の整備、自転車教育や啓発のあり方などが重要になってくると私は考えます。私自身毎日自転車を利用しているひとりとして、自転車政策に引き続き取り組んでいきたいと改めて強く感じた定例会でした。

これから開催する都政報告会では、自転車対策を中心に皆さまのご意見を伺い、政策提言に活かしていきたいと思っております。是非ご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

## 都政報告会開催日程

申込不要  
参加費無料

テーマ  
都議会第3回定例会を終えて、  
自転車対策について、その他意見交換

11/12月 10:00～11:30

会場：かたらいの道 市民スペース ツインタワー北側1F  
武蔵野市中町1-11-16（三鷹駅北口徒歩3分）

11/14水 10:00～11:30

会場：武蔵野プレイス3F スペースC  
武蔵野市境南町2-3-18（武蔵境南口徒歩1分）

11/16金 19:00～20:30

会場：武蔵野公会堂2F 第1・2合同会議室  
武蔵野市吉祥寺南町1-6-22（吉祥寺駅南口徒歩3分）

テーマは各会場同じ・いずれも開場時間は30分前

テーマ  
都議会第4回定例会を終えて、  
その他意見交換

12/15日 10:00～11:30

会場：武蔵野公会堂2F 第1・2合同会議室  
武蔵野市吉祥寺南町1-6-22（吉祥寺駅南口徒歩3分）

開場時間は30分前

どなたでもお気軽にご参加ください

ご意見・ご要望をお寄せ下さい

FAX.0422-50-0697 E-mail reiko@matsushita.name

都議会民主党武蔵野支部 都議会議員

連絡先

# 松下 玲子 事務所

〒180-0006 武蔵野市中町1-3-2 ハウスプランニングビル402

TEL.0422-50-0696 FAX.0422-50-0697 E-mail reiko@matsushita.name

